

Title	京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 89
Author(s)	
Citation	京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 (1960), 89: 67-71
Issue Date	1960-02-05
URL	http://hdl.handle.net/2433/186962
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館 月 報

No. 89

1960. 1月 (2月5日)

録 事

1960年は暖冬を思わせる平穩な正月をもつて明けた。世評の如く今年は「黄金の年」となるかどうか、正月5日間の水族館入場者の数をあたってみると、1日1193名、2日3199名、3日3171名、4日2009名、5日1664名となり1月全体を総括すると昨年度よりも1万余名の増加を見た。すでに大口団体の申込みも数件あり、まず幸先のよい年の始めといえよう。

耳頭にあたって、水槽内部及び正門のアーチを黄色く新しく塗りかえて完了した。

水族館前の実験所に通ずる通用門は番所山植物園の手によつて、引込み式扉閉鎖が取りつけられた。

山路布施委員と高松研究員は1月18～29日、中ノ海干拓計画に伴う冬期海洋観測のため松江市に出張した。

業 務 概 況

◎ 1月の入場者数

区 分		大 人		小 人		合 計	
		本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
水族館発売	個人	8259	74492	670	6564	8929	81056
	団体	7425	125504	—	—	7425	125504
交通公社発売		8480	56273	—	—	8480	56273
明光バス発売		22286	180260	759	6628	23045	186888
合 計		46450	436529	1429	13192	47879	449721
無 料						0	955

団 体 : 一般 111組, 学生 0組 合計 111組

◎ 1月の事業収入

(今年度累計)

観光券売上金

窓口発売	294,805	3,488,160
交通公社クーポン	133,532	861,330
明光バス観光券	213,686	3,203,875※

予金・積立金利子 — 437,386

雑 収 入 19,203 226,082

魚 類 拂 下 — 1,080

絵はがき拂 下 20,110 249,450

計 681,336 8,467,363

※ 明光バス観光券未収分 動植物共通大人券 24632枚
全 上 小人券 841枚

◎ 1月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	89,435	1,103,639	
会 議 費	—	90,754	
備 品 費	—	72,240	
消 耗 費	199,210	379,893	水族館、印刷代、カ水槽ヒ-タ取付
華 業 費	50,029	473,982	
維 持 費	—	117,485	
其 他 諸 経 費	40,856	569,066	建物使用料
積 立 金	180,037	1,639,376	
合 計	559,567	4,446,435	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	6,335	133,798	布施委員
奨 学 金	—	12,000	
備 品 費	—	278,917	
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	162,951	
役 務 費	—	22,550	
合 計	6,335	610,216	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	35,530	401,768	
備 品 費	—	15,000	
消 耗 費	—	—	
役 務 費	—	1,860	
合 計	35,530	418,628	

臨時費

支出なし

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	559,567	4,446,435
実験所経費	6,335	610,216
博物館経費	35,530	418,628
臨時費	—	50,000
計	601,432	5,525,279

◎ 1月末現在高

前月よりの繰越	286,218
今月の収入合計	681,336
今月の支出合計	601,432
現 在 高	294,208

◎ 前年度との比較

	1959	1960	増 減
入 場 者 数	35315	47879	+ 12564

水族館記事

- ◎ 資料に示してあるように、水槽の水温が下旬にとくに下ったので、多くの飼育中の動物が死亡した。とくに長く注意して飼育していた動物では、

1. アカウミガメの仔 3個体、生き残り 1個体。

8月2日以来飼育していたもの。

2. アマノミ 2個体、生き残り 1個体。

7月24日、9月7日以来飼育していたもの。

3. コバンザメ 2個体、生き残り 1個体。

うち1個体は7月26日以来飼育していたもの。

4. イバラヒトデ 4個体、全滅。

もっとも長く飼育された個体は4月14日購入のもの。

5. オニヒトデ 3個体、全滅。

12月13日以来飼育していたもの。

等、そのほかに、ヤドカリ、ゴンズイ、コウイカ、アオリイカなどが多数死亡した。

- ◎ ツボ網でとれた軟骨魚類が多数入槽した。それらはシビレエイ、ガンギエイ、アカエイ、ナヌカザメ 計14個体で、そのうち7個体は死亡したが、ホシザメ、シロザメ、ヒラタエイとともに水槽をにぎわしている。

- ◎ 31日にミカドウミウシが入槽した。

- ◎ 2月2日現在、観覧水槽に収容飼育中の動物は総計152種、1183個体以上で、その内訳は次の通り。

カイメン類	4種	ハナギンチャク類	1種、	シャコ類	1種、
ヒドロ虫類	2種、	ホウキムシ類	1種、	ニ枚貝類	7種、
ウミトサカ類	1種、	多毛類	2種、	巻貝類	10種、
ヤギ類	5種、	カブトガニ類	1種、	アメフラシ類	2種、
イソギンチャク類	10種、	エビ類	8種、	タコ類	1種、
サンゴ類	12種、	ヤドカリ類	3種、	ウミシタ類	1種、
スナギンチャク類	1種、	カニ類	12種、	ヒトデ類	4種、

ウニ類 8種, ホヤ類 2種, 硬骨魚類 38種,
ナマコ類 6種, 軟骨魚類 6種, カメ類 3種.

資 料

- ◎ 1月の気象 (9時観測)
南水槽室 (水温比重はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(20)	7	5	8
室 温(°C)	$\frac{8.8 \sim 17.3}{11.9}$	$\frac{7.8 \sim 13.1}{9.7}$	$\frac{4.6 \sim 10.8}{7.0}$
水 温(°C)	$\frac{14.10 \sim 16.99}{15.40}$	$\frac{12.94 \sim 15.21}{13.99}$	$\frac{11.18 \sim 13.44}{12.30}$
比 重(0.15)	$\frac{25.35 \sim 25.68}{25.57}$	$\frac{25.29 \sim 25.60}{25.42}$	$\frac{25.39 \sim 25.74}{25.53}$

取入口

水 温(°C)	$\frac{15.09 \sim 17.83}{16.28}$	$\frac{13.70 \sim 15.28}{14.66}$	$\frac{11.96 \sim 14.90}{13.65}$
比 重(0.15)	$\frac{25.45 \sim 25.79}{25.66}$	$\frac{25.30 \sim 25.57}{25.47}$	$\frac{25.49 \sim 25.75}{25.63}$

昭和35年2月5日 (N0. 89)

編集兼
発行者

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸臨海実験所
和可山県 白浜町
瀬戸臨海実験所内
(Tel. 白浜温泉 515)